

修学旅行の日程

9月11日(土) 午後1時 うちあわせ 講堂集合
 第1団…9月13日(月) 修学旅行出発—上野駅団体改札口前 午後19時30分
 第2団…9月14日(火) までにて集合

日次	期日(曜日)		行 程	宿 泊
	1 班	2 班		
1	9/13 (月)	9/14 (火)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">——— 列車</p> <p style="text-align: center;">———— バス</p> <p style="text-align: center;">- - - - 徒歩</p> <p style="text-align: center;">左下数字 着時刻 右上 発時刻</p> </div> <p style="text-align: right;">2050 上野 ——— 113列車</p>	車 中
2	9/14 (火)	9/15 (水)	<p style="text-align: center;">(昼食)</p> <p style="text-align: center;">8.20 10.00 10.50 12.30 16.10</p> <p>——平泉——中尊寺——毛越寺——巖美溪——仙台——作並</p> <p>8.03 8.30 10.10 11.20 (青葉城址) 17.10</p> <p style="text-align: right;">1530</p>	岩松旅館 Tel 1, 3 300人収容
3	9/15 (水)	9/16 (木)	<p style="text-align: center;">(昼食)</p> <p style="text-align: center;">8.00 11.30 16.30</p> <p>(宿)——松 島————吾妻スカイライン——土 湯</p> <p>(端巖寺・五大堂) (浄土平)</p> <p>9.50 15.30 17.30</p>	山水荘 Tel 56, 65 300人収容
4	9/16 (木)	9/17 (金)	<p style="text-align: center;">(昼食および写真さつえい)</p> <p style="text-align: center;">8.00 12.00 17.30</p> <p>(宿)——磐梯高原————五色沼入口——黒 磯——赤羽</p> <p>9.30 ハイキング 16.30 20.28</p> <p style="text-align: right;">19.55</p> <p style="text-align: right;">赤羽駅解散</p>	

雨天の場合 3 日目後半から 4 日目にかけて一部コースを変更

用意と注意

1. 服装

- (1) 清潔端正で華美にわたらないようにしよう。
- (2) バッチは必ずつけよう。
- (3) 靴は、はきなれたものを着用しよう。

2. 携行品

- (1) 生徒手帳を必ず携行すること。
- (2) 雨具 レインコート、ビニールの雨具、携帯の傘のある人は持っていったほうがよい。
- (3) 日用品 洗面用具・ハンカチ・チリ紙・寝巻き・靴下・着がえの下着・常用薬等(女子は特に十分の用意を整えていくこと)
- (4) 研究用品 筆記用具(ノート、万年筆、鉛筆)・スケッチブック・旅行用資料・旅行のしおり・地図
- (5) 所持金 1,500円程度とし、あまり多く持って行かないこと。
- (6) その他 名札(荷札に学校・組・氏名を記入したもの)……数枚、紙袋(くずもの入れに使用する)……1, 2枚
- なお、所持品には必ず記名し、靴・フロンキ包等には名札をつけること。又時計・カメラ・双眼鏡等のナンバーはひかえておくこと。

3. 乗物について

- (1) 乗り降りは、クラス委員の指示に従い指定された車両に乗ること。
なお途中では絶対、列車の外に出ないこと。
- (2) 乗車前、下車後には必ず人員の点呼をすること。
- (3) 車中では放歌高吟して他人に迷惑をかけないように注意し、特に行き夜行列車では他人の安眠を妨げないようにしよう。
- (4) 包紙・あき箱・あきピンなどのくず物は紙袋に入れてまとめておこう。
- (5) 車窓展望を忘れがちであるが、車窓からの学習にも留意しよう。
特にバスの中では説明によく耳を傾け、不まじめな態度はやめよう。

4. 見学について

- (1) 雑談をさけてよく観察し、特に寺院の堂内などでは静かに説明を聞きメモを取るよう心がけよう。
- (2) 古美術見学のときの筆記には、万年筆を使用しないこと。
- (3) 立入禁止の地域へふみこんだり、美術品に手をふれたりしないこと。
- (4) 見学時間をよく守って集合時刻を厳守しよう。
- (5) 食事休憩などの後始末をよくして、観光地を汚さないようにしよう。

5. 宿泊について

- (1) 大声をあげてさわいだり、歌ったりすることをつつしみ、特に睡眠時間中は他人の安眠を妨げないこと。
- (2) 就寝起床の時間をよく守り、睡眠は充分とって翌日の見学に支障をきたさないようにしよう。
- (3) 貴重品は旅館へ預けること。
- (4) 室内はよく整頓しておこう。
- (5) 入浴は6時から入浴割当時間帯(別紙)にしたがってできるだけ早くすませるようにしよう。
- (6) 夕食は7時から大広間で全員会食とするので、マイクの放送があり次第直ちに集合すること。
- (7) 旅行中は外泊はできない。
- (8) 不時の災害に備え非常口の確認、所持品の整頓等にも気をつけよう。
※山水荘(土湯)では各自はきものは部屋の前までもっていくこと。

6. その他

- (1) 自由時間の外出では、単独行動はしない。
- (2) 飲料水には注意し、過食をつつしみ非衛生的な飲食物の買い食いは絶対によそう。
- (3) 体の具合が悪い時はなるべく早く申し出ること、決して無理をしてはいけない。
- (4) 身体の故障や病気をおこしやすいものは、そのような事情を前もって届け出ること。
- (5) コース・日程・宿泊旅館の住所・電話番号を家庭に知らせておくこと。